

平成31年度 芦別市予算概要

人口減少と少子高齢化、地域経済規模の縮小と財政の硬直化の波が本市に押し寄せる中であって、これに怯むことなく、市民の安全・安心した暮らしの実現と、地域経済の活性化を図ることが本市にとっての大きな課題であり、このため、行政として、これまで以上に何をしなければならないのかが、まさに、問われ、試される時に直面しております。

この時にあたり、平成31年度の予算においては、医療、保健、福祉、介護、子ども子育て支援への対応、農業、林業、商工業、建設業、ものづくり産業や観光の振興に加え、教育、文化、スポーツ、合宿の振興や防災・減災への対応等に意を用いながら、特に、本年度が「第5次総合計画」及び「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の総仕上げの年度であることを念頭に置きつつ、「縮充」の視点を持って本市の将来を次期「第6次総合計画」へと繋げられるよう予算編成に意を用いたところです。

この結果、一般会計及び特別会計、企業会計を合わせた芦別市の予算総額は、190億1,424万5千円となり、前年度当初予算との対比では、3,294万1千円、0.2%の増加となっております。

このうち、平成31年度一般会計予算の主な内容を「第5次芦別市総合計画」の分野別に掲げると、

1 安全・安心な市民生活の確保に係る施策の推進として

- ・ 空き家等対策事業
- ・ 市総合庁舎及び総合福祉センターへの非常用電源整備ほか
備蓄計画に基づく備蓄品の整備
- ・ すみれ団地建替事業
- ・ 駅前広場整備工事
- ・ 消防団車両購入など

2 地域経済活性化に係る施策の推進として

- ・ 新規学卒者などに対する雇用奨励金 【総合戦略事業】
- ・ ふるさと就職奨励金 【総合戦略事業】
- ・ 農業振興に係る特産品開発支援事業 【総合戦略事業】
- ・ 私立学校学生確保対策補助金交付事業など 【総合戦略事業】

3 福祉、介護、子ども・子育て支援に係る施策の推進として

- ・ 障がい施設通所者への交通費補助の拡充
- ・ 妊産婦安心出産支援に対する補助
- ・ 不妊治療費助成 【総合戦略事業】
- ・ 子ども・子育て支援事業計画の策定
- ・ 老人保健福祉施設の環境整備など

4 教育・文化・スポーツ・合宿の振興に係る施策の推進として

- ・ 小学校情報化推進事業(ICT整備)
- ・ 文化伝承拠点施設(百年記念館)の環境整備
- ・ スポーツ少年団など各種体育団体に対する補助金の拡充
- ・ 宿泊交流センター新築工事に係る基本・実施設計など

となっており、これらの結果、一般会計の予算総額は、
109億8,600万円となり、前年度当初予算との対比では、
1億3,600万円、1.3%の増加となり前年度を上回る結果となりました。

歳出においては、経常費が97億919万5千円(構成比88.4%)で、各種選挙に要する経費、総合行政情報システム機器更新に要する経費などが増加する一方、病院事業会計の経営支援に係る補助金、職員給与に要する経費、生活保護扶助費、などの減少により、前年度当初予算対比で1億6,010万4千円、1.6%の減少となりました。

事業費は12億7,680万5千円(構成比11.6%)で、三角橋架替事業、頼城団地除却事業、し尿収集車両更新事業などが減少する一方、星遊館改修事業、小学校ICT整備事業、除雪機械整備事業などが増加したことにより、前年度対比で2億9,610万4千円、30.2%の増加となりました。

歳入においては、市税で市たばこ税や軽自動車税などが増加するものの、市民税(個人)や固定資産税の減少が見込まれることから、前年度当初予算対比で3,128万4千円、2.1%の減少に加え、減債基金繰入金などが減少する一方、星遊館改修事業に係る市債、特定目的基金からの繰入金、ふるさと応援寄附金などが増加したことにより、前年度当初予算対比で1億3,600万円、1.3%の増加となりました。

地方交付税は、平成30年度の交付決定額に国の地方財政計画の伸び率等を勘案し、前年度当初予算対比で7,400万円、1.6%の減少を見込んでおり、歳入が歳出に対して不足する1億6,277万4千円の財源については財政調整基金を繰り入れ、収支の均衡を図ったところです。

以上のことから、平成31年度は、持続可能な市政とまちづくりの伸展を期し、行政の効率化とスリム化を進め、引き続き「改革と成長」をキーワードに市政の推進を図ることを目指して参ります。